

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、4,415件（295種類）であり、このうち件数の多かったものは、「小規模作業所等成人期障害者施策に関する請願」230件、「中小建設関連業者に対する金融機関の貸渋り等を行わせないことに関する請願」99件、「建設関連労働者・中小建設関連業者の雇用を守ることにに関する請願」99件、「建設関連労働者・中小建設関連業者の暮らしを守り、公共事業の生活・環境重視へ転換することに関する請願」99件などであった。また、年金制度改革に関連した請願は45種類666件が紹介提出された。

各委員会への付託件数は、内閣138件、総務22件、法務248件、外交防衛103件、財政金融746件、文教科学217件、厚生労働1,949件、農林水産65件、経済産業171件、国土交通279件、環境9件、議院運営90件、災害対策5件、沖縄・北方2件、倫理選挙22件、イラク・事態349件であった。

請願者の総数は2,248万505人に上っている。

6月15日及び16日、各委員会において請願の審査が行われ、6委員会において379件（12種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで16日の本会議において「ILOパートタイム労働条約（第百七十五号）の批准に関する請願」外378件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は、8.6%であり、また、種類数による採択率（採択数／付託数）は、4.1%であった。